

企業版ふるさと納税の対象事業リスト

令和5年4月1日現在

地域再生計画の事業名（基本目標）		3 龍ヶ崎で結婚し、子どもを産み、育てたくなるまちづくり事業	
令和5年度予算総額		72,648,000円	
具体的な事業（プロジェクト）			
事業名称	子育てスマイルパスポート事業	予算額	14,000,000円
		所管課等	こども家庭課
本市のめざす「住みよいまち」づくり、特に子育て環境の充実に向けた取組として、子育て世帯へ向け、オンライン環境による民間の企業向け福利厚生サービスを活用し、子育て支援に関する幅広いメニューを展開し、子育て世代の定住促進を図ります。			
事業名称	AIドリル活用推進事業	予算額	7,579,000円
		所管課等	指導課
ICT教育の充実を図るため、学習支援ツールとしてAIドリルを導入し、学校や自宅などにおける個別最適化された学びの推進と学力の向上を図ることで、特徴的な教育環境を整備し、子育て世代に選ばれるまちとなるよう取り組みます。			
事業名称	教科専科指導員配置事業	予算額	22,561,000円
		所管課等	指導課
専門的な指導員を配置することで、子どもたちへの効果的な学習指導を推進し、学力の向上を図ることで、特徴的な教育環境を整備し、子育て世代に選ばれるまちとなるよう取り組みます。			
事業名称	県産献立「いばっぺごはんの日」実施事業	予算額	7,030,000円
		所管課等	学校給食センター
学校給食における地場産物の活用を推進し、地域における産業の活性化と消費喚起を図り、かつ、子どもたちが地産地消などを学ぶ教材とするため、龍ヶ崎市産を中心とした茨城県産の食材のみを使った給食を提供する「いばっぺごはんの日」を実施します。			
事業名称	小中学校英語検定料助成事業	予算額	2,872,000円
		所管課等	教育総務課
社会のグローバル化に対応できる人材を育成し、子どもたちの英語力や学習意欲の向上を図るため、実用英語技能検定（英検）の受験に要する検定料を支援することで、特徴的な教育環境を整備し、子育て世代に選ばれるまちとなるよう取り組みます。			
事業名称	青少年リーダー育成推進事業	予算額	1,351,000円
		所管課等	文化・生涯学習課
非日常の生活文化に親しむことで、自分や自分の住むまちと向き合い、新たな自分を探求し、自己理解を深め、次代を担う若者リーダーの育成を図ることについて、官民連携した体験型イベントを開催します。			
事業名称	若者結婚新生活応援事業	予算額	15,000,000円
		所管課等	まちの魅力創造課
若者の結婚に伴う新生活を経済的に支援し、婚姻を促進するとともに、本市における定住促進を図るため、本市に居住する若者世代が結婚した場合に支援を行います。			
事業名称	ウェルカムチケット交付事業	予算額	2,716,000円
		所管課等	まちの魅力創造課
新たに市民になった若者などを対象に、本市の居住環境の優位性の認知と定住促進を図るため、市の公共施設等で利用できる優待チケットを配布します。			
(参考) 地方版総合戦略における最上位計画との関連	政策の柱	施策	施策の展開方向
	1 子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	(1) 子ども・子育て支援の充実 (2) 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進	① 質の高い幼児教育・保育の確保 ② 地域での子育て環境の充実 ③ すべての子どもが健やかにいきいきと育つ環境づくり ④ 子育て世代への経済的支援 ⑤ 少子化対策の強化 ① 確かな学力を育み、信頼される学校づくりの推進 ② 共生社会に向けた教育活動の充実

			③ 健康で健全な心身を育む教育の推進 ④ 新時代に活躍する人材の育成
		(3) 若者世代の活躍支援と定住促進	① 青少年の健全育成 ② 若者世代の活躍支援 ③ 若者世代の定住促進

※ 本市では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略（地方版総合戦略）」について、まちづくりの最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030」に内包する形で策定していることから、参考として、地方版総合戦略と最上位計画との関連について記載しています。